

# 根岸 コミ協だより

根岸地域コミュニティ協議会広報紙

第18号(平成31年3月10日発行)

発行:根岸地域コミュニティ協議会

問い合わせ:根岸地域コミュニティ協議会

〒950-1247 新潟市南区山崎興野290

電話/025-362-6135 FAX/025-362-6425

メールアドレス/changing.negisi@bz03.plala.or.jp

川と共に育ち、大地と共に育つ、ここが私たちの地域。

根岸地域に住む皆さんか、地域の人とのふれあいを大切にし、共に支え合う心を持つことができる地域づくりを目指します。

根岸地域コミュニティ協議会

## ねぎし

協議会の運営・活動は、新潟市の補助金を受けて実施しています。

あるさとまつり  
どんど焼き開催



1月13日（日）

伝統文化・地域活性化事業として、広域地域が協働で開催  
(新潟市アグリパーク・根岸・鷲巣・大通コミ協) しました。

天候にも恵まれて大勢の来場者でたいへん賑わいました。

良い一年となりますように…



年男・年女のなかから希望者を募り、点火しました。





昨年から、藁や豆木殻などの調達や  
「とば編み」、竹の切り出しをして準備しました。各団体のスタッフの皆様方、  
ご協力ありがとうございました。



「とば」の編み方にも先人の知恵が  
活かされています。



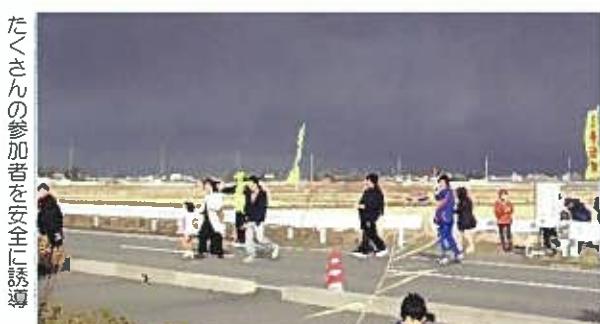
するめ  
「寿留女」と書き縁起物



するめを焼くのは新潟県だけ？



他県では、お餅や団子が一般的だそうですが、佐渡沖で大量に獲れることもあり、正月飾りや縁起物のひとつとして伝わったようです。



たくさんの参加者を安全にて説明  
暗雲が空に現れましたが  
虹が顔を覗かせて良い予感！



もの沂のゆるまいに行列



## 根岸小の子どもたち 田んぼの学校活動紹介



5月に植えた  
苗もすくすく育  
ちました。

9月に収穫です



### ● 稲刈り・ハザ掛け



学校田では一年間を通して5年生が体験学習をします。  
根岸地区保全会、白根郷土地改良区、地域の皆さんから  
お米作りの大変さと大切さを教えてもらいました。



### ● 脱穀

現代の機械作業とは  
違い、昔の人は手作業  
で大変だったな～



## 根岸地区地域交流会 <輪投げ大会> 11月11日(日)



地域のお茶の間として、  
輪投げ大会が盛大に開催さ  
れました。



個人戦で腕を競い合い、  
賞品獲得！ 和気あいあいと  
元気いっぱい楽しい一日を  
過ごしました。



# ☆お☆知☆ら☆せ☆

## « 図書コーナー »

平日 開館時のみ  
読書や勉強スペースがあります。  
お友達や地域の交流の場として  
お気軽にご利用ください。

## 根岸地域生活センター



### ★掲示板をご覧ください



«健康コーナー» 是非ご活用ください。

1階 自動血圧計

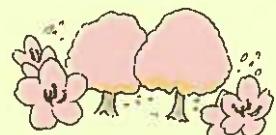
«体力づくりコーナー»

2階 エアロバイク・握力計

座って測れる体前屈を設置しています。

## 今後の予定

4月14日(日) ウォーキングと清掃ボランティア（桜道路）



詳細はチラシをご覧ください。

4月16日(火) 犬の狂犬病予防接種 14:40～15:20 根岸地域生活センター



根岸地域自主防災会

避難情報の名称について、新潟市では下記の名称で避難情報が発表されます。

自宅周辺の危険個所や、とるべき行動についてご確認ください。



また南区内において、地震時の避難所開設は、

<震度6弱以上>一斉開設、<震度5強・5弱>状況を確認の上、避難者がいる場合は「指定緊急避難場所」として一旦受け入れ被害状況・避難者の状況により全部または一部を開設されます。

危険度

【変更前】

低	避難準備情報
	避難勧告
高	避難指示（緊急）

【変更後】

避難準備・高齢者等避難開始
避難勧告
避難指示（緊急）

そのときどうすればいいの？

●避難行動に時間要する人… 避難に時間要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）は避難を開始しましょう。（避難支援者は支援行動を開始）

●通常の避難行動ができる人… いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。

●通常の避難行動ができる人… 避難場所への避難をしましょう。ただし、避難場所への避難がかえって危険であると判断できる場合は、屋内安全確保（安全を確保できる場所に留まる、又は屋内の2階以上の安全を確保できる高さに移動する）を行いましょう。

●すでに避難中の人… 避難行動を直ちに完了しましょう。

●避難していない避難対象の人… 直ちにその場から避難をしましょう。ただし、外出することがかえって危険であると判断できる場合は、屋内安全確保を行いましょう。